

利用者運営委員会(略称 利用者会)から

定例会で主に話し合われたこと

I 1月定例会(1月11日)

(1) 利用者運営委員会の今後の進め方

これまでは、利用者会の目的や財団法人プラザ・コムとの関係が明確でなかったとの分析から、今後は次の点に力を入れていくことにしました。

- * 利用者会の目的を明確にする
- * 委員は個人参加であり、所属グループの利害代表者であってはならない。グループ活動を原点に利用者全体のことを考える
- * 財団やボランティアグループ、ボランティア連絡会などとの連絡を密にする
- * 「ぷらざこむ1通信」などで情報公開に努める
- * 委員の選任方法や任期の見直しを検討する

(2) 阪神・淡路大震災10周年記念行事

1月17日、1階活動スペースなどを会場に開催するとの報告が実行委員会からあり、利用者会として積極的に参加することを決定。当日は会場設営、参加者の車による送迎、駐車場整理などで協力しました。

(3) 要望

喜久の会からワゴン車、すり鉢などの購入依頼があり、ワゴン車の購入を決めました。他のグループのみなさんもお利用ください。

II 2月定例会(2月10日)

(1) 利用者運営委員会について

前回に続き、財団法人プラザ・コムの目的、利用者会の役割を論議しました。

* 財団プラザ・コム設立の目的

- ① 福祉コミュニティーの発展
- ② 特にボランティア活動の発展

* 利用者運営委員会の目的、役割

<第一ステップ>

ぷらざこむ1がボランティアの発展につながるための利用に際してのルール作り。

<第二ステップ>

ぷらざこむ1の施設を通じてボランティアの発展につながる活動を、ボランティアグループの意見や要望を吸い上げながら自主的に推進する。

そして第二ステップに移行するためには、1月定例会でも論議された①利用者会の委員の任期、構成の見直し②ぷらざこむ1通信の発行(利用者会の情報公開)③財団プラザ・コムと利用者会の役割の明確化(利用者会の自主的運営)④ボランティア連絡会、ボランティア活動センターとの連携---が再確認されました。

(2) 震災10周年記念行事は大成功!

実行委員会の報告では、1月17日の行事には500人余の市民の参加があり、温かい心の交流が会場にあふれました。実行には色々な立場の人たちが集まり、しっかり役割を果たして行事は大成功だった、と分析しています。

催し

I こむの音楽会

「黒河洋子 歌のコンサート」

～楽しく歌いましょう～

日時 3月19日(土) 午後2時～3時

場所 ぷらざこむ1 1階活動スペース2

こむの音楽会の主催で、「さくらさくら」などの独唱や「早春賦」など四季の唱歌をみんなで歌ったりします。

伴奏 杓内 美奈子 入場無料です。

II ふぁみ劇祭だ! わっしょい和っしょい

日時 4月23日(土) 午前10時～午後3時

(雨のとき=4月24日午前10時～午後3時)

会場 ぷらざこむ1 玄関周辺とガーデニング広場

宝塚ふぁみりい劇場の主催で、こま回しなどの体験コーナー、街頭紙芝居、模擬店、フリーマーケット、こども市などがあります。

お知らせ

* 議事録をぜひ読んで!

利用者会定例会の議事録を1階入口近くのパネル掲示板に吊り下げています。ぜひ目を通してください。

* ロッカー利用申し込み受け付け

継続申し込みは3月1日～15日の間をお願いします。年間使用料1000円。(利用取りやめも同じ期間内に連絡を。新規申し込みは随時受け付けています)

* ホームページをオープンしました

財団法人プラザ・コムが「宝塚福祉コミュニティープラザ」のホームページを作成しました。

<http://homepage2.nifty.com/plazacom/>
ご意見をお寄せください。